

にのみやまちとしょかん 図書館だより

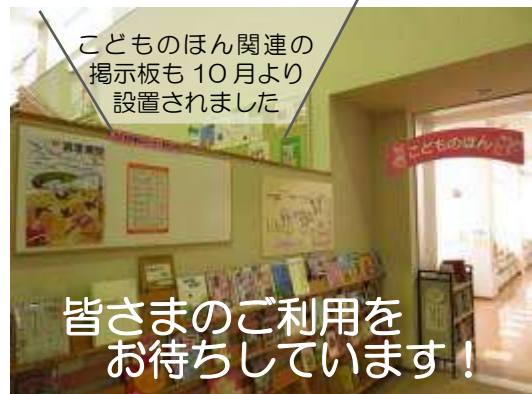
第57号



特集 こどものほんコーナー大解剖!

2013年9月より二宮町広報紙面で「おいでよ!図書館」の連載がはじまりました。こども向けのサービスや子育て関連のサービスの紹介を順次していく予定です。今回の特集では、紙面の関係上広報では載せきれないこどものほんコーナーの様子についてお伝えします。

大きな窓の明るいフロアと木製の本棚のあたたかみのある雰囲気がこどものほんコーナーの特徴です。図書館では、こどもたちがいかに楽しく本の世界に入ってゆけるか、その道案内ができたらいいなと考えています。壁のタペストリーや本棚の上のあちこちにいる人形たちはどれも本のなかから飛び出てきた主人公たち。どの本の主人公なのか、探しあてるのも楽しいですね。



奥には靴をぬいで床に座って本が読める「おはなしのへや」があります。ここでは毎月のみやおはなし会による「おはなし会」も開催されています。部屋の前のスペースにはあかちゃん向けの絵本やのりものの絵本などのコーナーもあります。思い思いの時間を図書館でゆっくりと楽しんでくださいね!

皆さまのご利用をお待ちしています!

8月～10月の新着本&DVD

2013年8月～2013年10月新着分より

(著編者/出版社/出版年月/請求記号)

本

『最高齢プロフェッショナルの条件-これができる、好きな仕事で一生食べていける!-』

(徳間書店取材班/徳間書店/'12.9/366.2カ)

93歳の助産師、85歳のサクソ奏者…。46歳から106歳の多種多様な職業の現役最高齢の15人を紹介。苦勞の末、今の仕事にたどり着いた彼らの言葉一つ一つに重みを感じられる。

画像
なし

『子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの?』

(おおたとしまさ/日経BP社/'13.6/379.9オ)

「なぜ勉強しなくちゃいけないの?」という子どもの疑問に対し養老孟司、茂木健一郎など8人の識者がさまざまな角度から回答。子ども向けと大人向けに書いてあり、返答に困る問題のヒントが満載。

画像
なし

『イスタンブール トルコ』

(昭文社/'13.8/TB292.7イ)

昨年創刊された海外の旅行ガイドシリーズ、「トラベルテイズ」。都市や国別のタイトルでツボを押さえた内容のガイドブックです。カラフルですっきりとした背表紙が特徴的。現在刊行中の19冊全て所蔵しています。

画像
なし

『トコトンやさしい海底資源の本』

(大高敏男・乾睦子/日刊工業新聞社/

'13.6/558.4オ)

海底や海洋にある資源ってなあに?メタンハイドレードとは?潮流からエネルギーを取り出す方法など64の項目に分け海底資源開発の必要性和現状、今後の可能性までをイラストと共にやさしく解説。

画像
なし

『昭和三十年代演習』

(関川夏央/岩波書店/'13.5/910.2ウ)

活気があって、まだちょっぴりまずしかった昭和三十年代。それでも人は、教養を求めて意地を張るように本を購入。そんな複雑でおもしろい当時の世相を回顧とは異なる小説や映画などわかりやすい作品を使って分析。

画像
なし

『ラクダのまつげはながいんだよ』

-日本の子どもたちが詩でえがいた地球-

(長田弘/講談社/'13.6/911.5ラ)

1997~2012年度「海外子女文芸作品コンクール」(「詩」の部)受賞作品の中から審査にあたってきた詩人・長田弘さんが50編を選評。海外で貴重な体験をしている小中学生のみずみずしい言葉が感動的。

画像
なし

映像DVD (出演者/収録時間/請求記号)

『鬼に訊け-宮大工西岡常一の遺言-』

(山崎佑次監督/88分/521オ)

奈良・法隆寺の昭和の大修理などを手掛け、「鬼」と称された宮大工・西岡常一。「最後の宮大工」とも言われる匠の生涯を記録したドキュメンタリー映画。

画像
なし

児童書

『ぼくらの大冒険ハンドブック-大冒険はキミのすぐそばにある! 大自然とあそぼう!-』

(かざまりんべい/日東書院本社/'13.7/786カ)

アウトドア教育の第一人者による生きるための知恵と技術がつまった一冊。ナイフの使い方、ロープ・ワーク、火の起こし方、サバイバル・テクニクなどを分かりやすいイラストで説明しています。

画像
なし

展示テーブルから

—11月の展示テーマ—

みんなで
アンチエイジング
(抗老化医学)

画像
なし

←紹介本

『長寿県長野の秘密
-白澤卓二が解き明かす-』
(白澤卓二/しなのき書房
'13.2/498.3シ)

あれほど暑かった夏はどこかへ、そしてあれやこれやと毎日をおすごしているうちにどんどん時間は過ぎて、すでにカレンダーは11月。時には時間を巻き戻したい気持ちに駆られることがあります。

そこで、今月のテーマは「アンチエイジング」。健康で楽しく長生きするため毎日の生活スタイルを再チェックしてみるのはいかがでしょうか。みなさんは「ナガノパープル」を知っていますか?長野で開発されたアンチエイジングに最適なブドウ品種だそうです。紹介の本は、平成22年厚生労働省の調査で男女とも長寿県となった長野県の中でも最も長寿な、二宮町とも地域交流のある高山村の調査結果などを著者や諏訪中央病院の医師 鎌田寛氏の話をお聞きし、秘密を解き明かす1冊。「あきらめない」内容がいっぱいです。

こどものほんコーナーから おすすめの一冊

『レッド・ブック』

画像
なし

- バーバラ・レーマン
- 評論社
- '08.10
- Eレマ

あかい色の表紙がとてもすてきで、ひらいてみました。ゆきの日に、女の子が見つけたものは…。ページをめくると、ふしぎな世界にひきこまれていきます。文字のない魔法の絵本。つぎにひらくのはだれ?きつとしあわせなきもちになりますよ。

図書館発見 ⇨ ⇨ ⇨ 図書館見学ツアー

ベストオーダー
2013年8月～2013年10月

9月23日、二宮町商工会青年部主催第30回ふれあい広場（二宮町こども職業体験）が開催されました。会場の生涯学習センター・ラディアンや駅前町民会館では様々な職業の体験が行われ、ラディアンも朝から多くの親子連れで大賑わいでした。



↑見学ツアー参加者には、図書館入口で入館者を迎えているくまのクッキーの写真入りバッジをプレゼントしました！

二宮町図書館も「図書館見学ツアー」の企画でふれあい広場に参加しました。個人で参加できる館内見学は初めての試みでした。

小学生を対象に午前・午後の2回行い、1階2階のフロアだけでなく、通常は職員のみしか入れない地下書庫も見学。普段は見えない図書館員の仕事、図書館の裏側を紹介する内容は、参加した子どもたちにも好評でした。



↑全部で何冊くらい本があるのかな？
高さ3メートル書庫の集密書架にびっくり！

- 1 ホテルローヤル／桜木紫乃
- 2 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 3 ロスジェネの逆襲／池井戸潤
- 4 オしたち花のバブル組／池井戸潤
- 5 ライオンの棲む街／東川篤哉
- 6 政と源／三浦しをん
- 7 死神の浮力／伊坂幸太郎
- 8 オしたちバブル入組／池井戸潤
- 9 海賊とよばれた男 上下／百田尚樹
- 10 泣き童子(わらし)／宮部みゆき

ふう〜ん イタリアでも柿は「カキ」？

イタリア語でも柿は「cachi(カキ)」。日本語が語源となっている。19世紀に日本から欧州へ伝わった柿が、そのまま外来語として定着したとのこと。

二宮ゆかりの人物

いぬかい 犬養 犬養 犬養 犬養
つよし(つよき) 毅 毅 毅 毅
ほくどう 号:木堂 号:木堂
政治家

「話せば分かる」の言葉で有名な犬養毅。その別邸が二宮にあったことをご存じですか？ 神奈川新聞の前身である横浜貿易新報の明治41年12月8日付記事には「犬養氏の別邸 犬養毅氏は中郡吾妻村二宮に地所を買入、過般来より別邸新築工事中なりしが来廿日頃全部落成する筈にて同氏は此邸にて越年するよし」とあります。

犬養毅(1855～1932 号:木堂)は安政2年4月20日岡山県で生まれました。犬養は明治8年21歳で上京し慶応義塾などを経て、従軍記者や新聞界で健筆をふるいました。28歳で立憲改進黨の結成に加わり、36歳で第一回衆議院議員選挙に立候補、当選して以降連続19回の当選を数えました。大正期には憲政擁護運動、普通選挙運動を行い、尾崎行雄(1858～1954 神奈川県出身の政治家)と共に憲政の神様と称されました。多忙を極めていた犬養ですが、明治41年二宮原田に初めての別荘を造りました。主に年末年始に避寒のために訪れていたようですが、「七月十七日相州二宮ノ海浜にて」と記されている書簡も遺されていることから夏も滞在していた事が分かります。

明治40年代、二宮には責善会という二十代の青年達の会があり、活発に活動していました。その会員の中から犬養の話の聞かせてもらいたいとの声が上がリ、二宮で講演会が開催されました。明治43年1月6日の開催当日犬養は「将来の青年」というテーマで3時間にわたって熱弁をふるいました。講演は大成功でしたが会員が翌日お礼に行ったところ、話す相手の年齢がまちまちで話しづらかったと大変気分を害されていました。実は当日、小学校の会場には聴衆が少なかったため老人、子どもも集められていたのです。しかしながら会の代表者が「木堂先生の顔を見たくて大勢集まりました」と言うと機嫌をなおし、会員達に扇子に漢詩を書いたも

のを渡したそうです。講演会を契機に、青年達は犬養の荷物運び役をすることもあったようです。また碁が趣味の犬養は近所の松木医院の医師(松木謙三氏)を碁の相手とし、その後碁盤を贈ったということも伝えられています。徳富蘇峰との交流もあり、同じ原田にある徳富蘇峰記念館には明治から昭和にかけての犬養から蘇峰に宛てた書簡が7通保管されています。



犬養 毅
(昭和7年4月20日撮影)

犬養は晩年は信州の別荘「白林荘」で庭仕事をしようと思っていたようですが、昭和6年内閣を組織することになり、生涯政治の表舞台に立ち続けました。首相として経済不況や軍の行動を憂慮し、打開しようと努めましたが昭和7年5月15日夕方官邸に陸海軍将校たちが乱入し、ピストルで撃たれその夜亡くなりました(五・一五事件)。その時犬養が言った「まあ座れ、話そう」は「話せば分かる」というフレーズとして有名になり、言論で説得しようとする犬養らしい姿とされています。犬養の死後政党政治は軍事政権へと移り、日本は戦争へと歩み出していきました。

今回の記事を掲載するにあたり『信州富士見白林荘』の著者である日達良文氏に貴重なお話を伺い、又資料のご提供もいただきました。ご協力ありがとうございました。

◆参考資料：『二宮町近代史話』(二宮町教育委員会/二宮町/'85/NGB6) 『市川佐太郎回顧録』(山口八郎/二宮町/'70/NC8) 『古稀隨筆』(山口八郎/二宮町/'76/NW4) 『二宮の昔はなし』(二宮町教育委員会/二宮町/'81/NGD7) 『理想の二宮』(責善会/責善会/'12/NW4) 『信州富士見白林荘』(日達良文/日達良文/2012/NY7) 『徳富蘇峰宛書簡目録』(徳富蘇峰記念塩崎財団/徳富蘇峰記念館/'95/NY1) 『異聞神奈川』(朝日新聞横浜支局/朝日ジャーナル/'71/K10C1) 『新編犬養木堂書簡集』(犬養木堂/岡山県郷土文化財団/'92) 『犬養木堂伝』(鷗尾義直/原書房/'68) 横浜貿易新報

お知らせ・お願い

★蔵書点検が終了しました

休館中はご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

〈作業内容〉

- 開架図書（約10万点）、AV資料（書庫の資料を含む全点）の蔵書点検
- 雑誌架レイアウト変更、個人寄贈雑誌の表示変更
- こどもの本コーナー案内表示、掲示板の追加
- 展示入替、機器点検 等

※何かお気づきのことがありましたら職員へお知らせ下さい。

★託児サービスが利用しやすくなりました

10月より、託児サービスの対象を拡大しました。

〈従来〉

3歳以下の乳幼児まで



〈10月〜〉

未就学児まで

※詳細はホームページおよび館内掲示をご覧ください。

★年末年始休館のお知らせ

12月28日（土）～1月4日（土）まで休館いたします。

※休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

行事

※くわしくはお問い合わせください。

11月							休館日
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

図書館講座
文学散歩
(16日、23日)

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

ちいちゃいおはなし会
第2水曜日（※2月は第1水曜日）

おおきいおはなし会—小学生からおはなし会とありがとうみあそび
第3土曜日

わらべうたであそぼう！
第3金曜日（※12月はお休み）

図書館託児サービス
第3木曜日（※12月は第2木曜日）

展示テーマ

9月 一般／『あの国 この国 どんな国？』
児童／『秋』
A V／『トリビュート』

10月 一般／『作家の横顔』
児童／『秋』

11月 一般／『みんなでアンチエイジング』
児童／『知りたいことがいっぱい！』
A V／『ワーグナー&ヴェルディ
～生誕200年～』

■地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】
10～12月・・・『二見利節PART3』

■特設展示（8～10月）

『2020年 東京オリンピック開催決定!!』

『谷川健一』

『山崎豊子』

『トム・克蘭シー』

『やなせたかし』

『連城三紀彦』

追悼展示

■児童特設

『やなせたかし』

『浜田広介生誕120年』

■書庫の本紹介コーナー

10～12月・・・『私小説』

ご協力ありがとうございます

図書館基金

10月末までの累計
3,639,433円

《月別合計》

8月の金額
3,731円

9月の金額
3,070円

10月の金額
3,286円

ひとつだけ ～編集後記にかえ～

10月下旬に悲喜こもごもの箱根駅伝の予選会が終わった。二宮に住むようになって沿道での箱根駅伝観戦は、年中行事の一つになった。選手の息づかいや汗が身近に感じられ胸が熱くなる。母校や神奈川の大学の選手が走っている時には、特に応援にも力が入ってしまう。いつの日か二宮出身の選手がこの区間を走る姿をみてみたいなあ～と常々思っている。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

☎ 図書館だよりテーブル版もあります。お問い合わせください！

『二宮ゆかりの人物
ガイドブック』
好評発売中！

